

庁舎整備等市民懇話会(ワークショップ)開催結果 ～これからの支所のあり方などを考えましょう～

1 主催
江田島市

2 参加者募集の周知方法

- ①案内分の送付
自治会，女性会，小・中学校PTA，保育園保護者会，子ども会の代表者
- ②市広報紙（広報えたじま 10月号）への掲載
- ③市ホームページへの掲載
- ④防災行政無線による周知

3 開催日時等

- 平成 26 年 10 月 18 日（土） 大柿分庁舎 4 階会議室
- ①午前の部 10:00～12:00
参加者数：37人
 - ②午後の部 13:30～15:30
参加者数：33人
▶参加者数合計：70人

4 参加者の内訳等

(1) 男女別

区分	人数	分布率
男	36	51.4%
女	34	48.6%
計	70	100%

(2) 団体別

区分	人数	分布率
自治会	30	42.9%
女性会	15	21.4%
小・中学校PTA	10	14.3%
保育園保護者会	3	4.3%
小学校区子ども会	2	2.9%
老人クラブ	6	8.6%
一般申込	4	5.7%
計	70	100%

(3) 年代別

区分	人数	分布率
30代	5	7.1%
40代	9	12.9%
50代	5	7.1%
60代	37	52.9%
70代	14	20.0%
計	70	100%

(4) 参加者平均年齢
61.3歳

プログラム		
	みなさんへ 各自、名札を付け、テーブルを囲んでください。	
<午前> 目安 10:00 (20分)	1 はじめに ・あいさつ、開催趣旨の説明 ・庁舎整備に関する説明 ・ワークショップの進め方の説明	<午後> 目安 13:30 (20分)
10:20 (70分)	2 主として支所のあり方を考えましょ う ・自己紹介、はじめるに当たっての説明 ①支所に求めるスペース (主としてハード) ※緑のポストイットに記入 例:市民サロン(憩いの場) インターネットの利用できる場 エレベーター など ②支所の体制・サービスの充実 (主としてソフト) ※黄色のポストイットに記入 例:窓口の対応の改善, まちづくり支援 複数の手続き等を1カ所で など ③コミュニティや交流の場としての 支所の活用(上記①②に関連) ※赤のポストイットに記入 例:自治会・まちづくり協議会の事務室 公民館機能 江田島市を内外に発信できるコーナー	13:50 (70分)
11:30 (30分)	3 全体会 ・班ごとの発表+意見交換 ・まとめ、市民の意見の活用	15:00 (30分)
12:00	終わりのあいさつ、閉会	15:30

①②③をそれぞれ、又は関連させて検討する場合があります。

当日の作業風景

《午前の部》



《午後の部》



5 出された意見のまとめ（全班の意見集約）

分類	意見内容	
全体について	<ul style="list-style-type: none"> 行政の人が地域の声を聞くこと（ワークショップで何回言っても返事も効果もない） 職員の市内定住 職員減少のため、色々な業務に支障が出ているのでは 行政の縦割りの改善（サービスの充実・改善） イベント等も各支所バランスをとって行って欲しい 	
本庁機能についての意見	<ul style="list-style-type: none"> 福祉保健部は能美でも良いのでは。練り直しが必要 江田島支所機能の拡充（分庁方式というなら本庁機能をもう少し分散させても良いのでは） 支所機能の人口、地理的なバランスに考慮（人数、部署など） 協議はどこで行ったのか（地区審議会はどうしていたか） 	
本庁と支所・出張所の関係について	<ul style="list-style-type: none"> 支所と出張所の役割分担 住んでいる町に関係なく同じサービスを受けられるようにする 移動を考えた支所、連絡所の配置 支所と本庁で窓口対応の格差がないように 	
支所機能等について	継続的な検討	<ul style="list-style-type: none"> 支所に行くことが少ないから、問題点がわからない 本庁と支所の整備が動き出さないとわからない 支所になった場合にどのくらい不便になるか想像できない（能美）
	支所の権限	<ul style="list-style-type: none"> 支所の権限の明確化 支所の人員配置はどのように考えているのか 市民要望に対応するための予算の前倒し 支所独自の予算枠確保（支所で小規模な道路補修などができるよう） 本庁への取次業務で、金額等を支所で決定することをして欲しい 危機管理、市民生活、福祉保健など各支所にも本庁と同等の機能が欲しい
	本庁との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 本庁、支所の連携充実（回答までの待ち時間を短く） 本庁と支所をオンライン化する
	窓口対応	<ul style="list-style-type: none"> 職員の窓口対応の向上 窓口業務へ適切な人材の配置、知識の豊富な職員の配置 一本化された窓口で手続きがとまとめてできるように 窓口業務を全て支所で対応できるようにして欲しい 窓口対応で、必要な説明を係の人がしっかりできるようにして欲しい 窓口対応は係ごとではなく、全員が対応できるように（人員の関係上） 事務手続き等、必要なことをマニュアル化し、簡潔にわかるよう 職員研修が必要（市民の質問に答えられるように） 地域ごとの職員4人をまず育てる 臨時職員の教育（本庁で研修をする） 理想は各課の職員が1人ずつ支所にいると良い
窓口利用に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> 支所で対応する時間帯の拡充（夜間業務、18時以降まで） 高齢者等の窓口業務の出張サービス（週1回など） 住民票や各種証明書などの書類の土日発行（免許証提示で取得できる様な形やATMスタイルなど） 支所、出張所でできるだけ用事が済ませられる体制（システム） 待ち時間に本人以外の人に内容が漏れないよう、プライバシー確保の強化 【あなたのふるさと課】をつくり、地域（or 定住）お世話隊で自治会・まちづくりをサポートしていく 窓口で待つ時の対応が、パソコン等している時すぐに対応がないので困る 何年かに1回市民用の手引きが発行されているが、皆さんに見られているのか（もっと簡単にならないのか） 道路補修等、現地確認にすぐ対応して欲しい（自治会に相談が多い） 外国人の手続きをやっていると、後続の人がなかなか手続きできない 手続きの待ち場所を設ける（ベンチなどのロビー機能） 多機能な設備を持つ待合所 	

分類	意見内容	
支所機能等について	配置をわかりやすく	<ul style="list-style-type: none"> 案内板を大きくするなどし、各部署の受付をわかりやすく 窓口業務に関する、アドバイス、案内機能（総合受付、コンシェルジュ） カウンター方式に（閉鎖的にしない） 各種手続きで回る部署が一目でわかるような、チラシを配備
	コミュニティ機能	<ul style="list-style-type: none"> 公民館に替わる広いスペースが必要 地域にある数カ所の集会所を中央部に集約する 各種団体と児童、生徒が交流する場所（多世代交流） 〇〇教室（絵画、料理・・・各地でやっている） 作品発表の場、ギャラリー（子どもの作品など） 地域の人が集まるミニシアター、サロン、ゲームセンター たたみの部屋、広間（多様に使える） コミュニティ・交流の場としての休憩所みたいな場所（気軽に集まれる場） 市民の利用できるインターネット、コピー・印刷などの設備 市民サロンの拡張・申請手続きの簡略化 若い人が働く場所がない（子育て中など）ので、公民館や出張所などの場所が増えれば良い 支所、連絡所、出張所と機能配置する施設はなんでもOK（空き家でも可）
	まちづくり支援	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体（自治会、女性会等）の事務所スペース、会議スペース まちづくり協議会の支援・フォローが必要
	子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援のための相談窓口を広めに（多く）する 窓口手続きするときに、赤ちゃんを座らせておく場所（ベビーベッドやフローアなどを目の届く場所に） 支所でも子育て支援センターのように、子どもが楽しめる場 教育相談ができる場所 子どもが勉強できる自習室を設ける（教えてくれる人、オンライン授業の設備など） 児童クラブの補完機能を 土曜日や雨天時の子どもたちの遊び、クラブのできる場
	保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 医療・健康づくり、診療（月〇回など） 介護についての事前相談の窓口を広めに（多く）する デイサービス（小規模） スポーツジム（若い人から高齢者まで利用できるよう）
	観光・情報・案内機能	<ul style="list-style-type: none"> サイクリング客へのトイレ開放や自転車整備をする場所の提供 江田島市内のイベントや自治会活動の全ての予定がわかるように 情報発信コーナー、パンフレット、土産購入、宅急便等が利用できる場所 観光案内所機能（支所、出張所でその地域の観光案内）
	地域センター機能	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンター（地域ボランティア人材バンクの設立、地域行事等へのボランティア派遣、ボランティア同士の交流の拠点に） リユースセンター（必要なくなった人から必要な人への貸出施設（図書、子育て用品など）、子育て施設・個人のニーズ集約機能、リユース品の管理・整備） リユース品の整備へのボランティア活用（おもちゃの医者などのように）
	インターネット関連	<ul style="list-style-type: none"> 子ども連れでも安心してインターネットを利用できる場（支所、出張所） インターネットによる各種手続き、施設利用申込み予約 ホームページを開いたら地図がダウンロードできるとか Wi-Fi 通信基地の設置
	防災	<ul style="list-style-type: none"> 本庁が遠く、危機管理体制に不安 災害時の対応の全てを職員でできる体制（市外居住職員の対応が課題） 防災関連の物品の備蓄できるスペース（毛布等の備蓄が十分かどうか） 避難所が地震対応か、津波対応かの表示 避難所として使用する場合に避難路の整備が必要 まず支所の耐震化を進める（完了後、初めて防災備蓄庫としての役割達成） 災害時の安全な施設整備、施設の情報発信

分類	意見内容
支所機能等について	アクセス等 <ul style="list-style-type: none"> ・車がない人も利用できるように（高齢者に優しい利便性） ・送迎サービス ・全支所で公用車よりも市民利用を優先に ・駐車場の整備（利用者向け、職員向け） ・支所（サロンなど）に行く手段の確保（送迎、バス） ・年齢構成を考えて、高齢者がどのように支所を利用できるかを考える ・高齢者には支所、出張所は遠い ・行政職員、議員ももう少しバスを利用（4km以内とか） ・交通便が悪く合併しても交流がない（バスの充実）
	バリアフリー <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 ・平屋で高齢者の利用しやすい間取り
	その他の活用案等 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らし、生活の環境を総合的に考える必要あり ・就職支援（紹介、相談、体制） ・U・Iターン支援 ・創業者、起業者の事務所 ・選挙の期日前投票を支所でもできるように ・入りやすい、集まりやすい雰囲気をつくる ・活用案を行政で示して欲しい ・土日祝日関係なく開門して欲しい（館内エレベーターを使用するため） ・サービス過剰になり過ぎないように配慮 ・行政・自治・教育の総合機能があると良い ・将来を見通し、計画性を持って全館でリフォーム ・郵便局、カフェ、公民館、図書室、史料館
出張所機能	<ul style="list-style-type: none"> ・出張所は平日（月～金）半日の事務でも十分 ・出張所で行政手続きできるようにするため、地域ごとに職員1人が必要 ・出張所こそ、何でもわかる人を配置、職員の資質の充実 ・元職員で各地域の出身者を再雇用して出張所に配置 ・出張所と同時に公民館として施設を存続させる
個別の支所・出張所	大柿分庁舎（本庁舎） <ul style="list-style-type: none"> ・各部署の案内がわかりにくいので、オープンにして欲しい ・本庁であっても、自治会等組織への支援ができるよう ・大原の保健センターを活用すべき ・本庁になったときに駐車場が狭い（市民用の駐車場確保）
	能美支所 <ul style="list-style-type: none"> ・これから空きスペースはどんどん増えるので、統廃合が必要 ・現本庁は入り口がわかりにくい ・能美庁舎にエレベーターがあると良い ・能美庁舎は新館、旧館ともエレベーターは不要 ・ショートステイ、デイサービスとしての活用 ・公民館や若者の集える場 ・教育・学びの拠点に（空いた部屋に塾（公設など）の開設）、宿泊機能（泊まりがけの学習） ・子どもサロン（津久茂地区）の経験を活かす ・塾に合わせてバスの運行 ・教員OBも活用し、教育委員会も支援する形
	江田島支所 <ul style="list-style-type: none"> ・企業局と支所が雑然としていてわかりにくい ・支所出入り口の狭さなどの改善、安全への配慮 ・駐車場整備（拡張） ・トイレ等が古く、再整備が必要 ・自治会の事務所として支所を利用できるように ・草むしりは誰がやるのか（管理の問題） ・行政機能＋スーパー、コンビニ、銀行があると良い

分類	意見内容
個別の支所・出張所	沖美支所（市民センター） <ul style="list-style-type: none"> ・沖美市民センターの利用見込みはどうなっているのか（三高在住者などは利用しにくい） ・沖美支所は三高に（沖は出張所でも良いのでは） ・5年後、10年後の人口を考えると立地は？ ・斜面地で循環バスなどがないと利用されないのでは
	三高支所 <ul style="list-style-type: none"> ・三高支所はどうするのか（三高支所の改修、避難場所としての強化・充実） ・災害避難場所も2階で出入り口も風当たりが強く窓ガラスも危ない ・雨漏り、耐震整備もなく、新しく建替えてできないか ・公民館（2階）はガス台も食器もないため、一度調べて欲しい ・宝くじによる資金調達・活用（申込みの支援・作成を行政が）
	切串出張所 <ul style="list-style-type: none"> ・出張所はあるが、窓口対応が十分でない（出張所で対応できない） ・切串出張所の利用頻度は他出張所に比べて多いのに、窓口が新人2人で、事務に支障が起きている（1人は知っている人が残って欲しい。） ・切串出張所の各設備が古い。 ・交通手段（バス）、駐車場が少ない ・切串出張所の図書室が活かされていない
	出張所の維持・設置 <ul style="list-style-type: none"> ・深江出張所を残して欲しい（市民サロンを楽しみにしている人がいる） ・柿浦、大君に出張所を設置して欲しい
	市民サービスセンター <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスセンター業務時間の改善と窓口によくわかる人を配置 ・業務開始を早くできないか ・飛渡瀬の市民サービスセンター（スーパー内）は便利
その他	施設関連 <ul style="list-style-type: none"> ・旧切串中学校の活用 ・旧大君小学校の跡地活用（耐用年数経過、雨漏りあり） ・旧飛渡瀬小学校が市の土地でないので、市有地にして活用しやすくする ・飛渡瀬に新庁舎を建てない代わりに、市民交流センターなどを検討 ・飛渡瀬は広場がないので、公園・広場を（防災のためにも） ・公園がない（全域）、子どもの遊べる場が欲しい（沖美・三高地区） ・コミュニティホームが古くなっているので、修繕して欲しい ・市民プールが欲しい ・道の駅の建設 ・公民館、集会所などの整備・充実（向側コミュニティは台所など） ・中の設備が古く、調理台などを修理しながら使っている（切串公民館） ・流しが2階で使い勝手が悪い（鹿川公民館） ・音響施設の整備をしてほしい（大柿公民館） ・避難場所として活用（大君ふれあいプラザ） ・柿浦は避難所までの道路で低いところがあり、できれば高い場所に
	団体・人材等 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の力を活用＋行政で協働の仕組みを ・地域のことは地域でできる態勢、仕組み（行政の参加・支援） ・ボランティアの育成、活用 ・まちづくり協議会は、自治会以外の団体も参加できるようにして欲しい ・高齢化による自治会へのアドバイス成功例などの情報提供 ・市職員OB、教員OBの活用
	個別の意見・提案 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の使用料を統一して欲しい。 ・放送はわかりやすい言葉、内容で（カタカナ語を使わない） ・防災情報のすばやい対応（メール配信等） ・一人暮らしの高齢者のために、携帯を持たせるとか何かできないか（現状はどうなっているか） ・オ乙（サイオト）小学校→民泊・ロジック 参考に ・空き家の茂っている木などが県道に出て交通の邪魔 ・公園の清掃、草刈り等 ・IT起業を市内に誘致する ・保護者代表で会議に出席したとき手当額が高かった（もう少し安くしては） ・市内の業者に発注すること